



# みんなで作るうまちの居場所

「あらゆる世代にとっての居場所」

「シンボリックな場所」

打出教育文化センター貸室等の利活用に係る

## 提案書

2022年8月5日

武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科



# 1. プロジェクトの目的

芦屋市は、打出公園と打出教育文化センター（うちぶん）の一体的整備によって地域の拠点をつくる「打出の小道プロジェクト」を進めています。このプロジェクトでは、「打出の小道プロジェクト」の一環として、地域の方々に親しまれる公共空間を再構築するための提案を行うことを目的とする。



## プロジェクトの特徴

〔目的〕

うちぶん × ムコジョ

歴史情緒ある施設の活用

公園と日本庭園を一体的に整備



地域の方々に親しまれる公共空間を再構築し、

打出地域のにぎわいの拠点に！

ムコジョは…

外からの視点を持ちつつ地域の方と一緒に、

新しいうちぶんを作るためにこのプロジェクトに関わっている。

## 2. プロジェクトの進め方

このプロジェクトは、武庫川女子大学生活環境学科まちづくりコースの3年生、4年生を対象とした演習科目「フィールドデザイン演習Ⅲ」として取り組んだ。

授業	月	日	内容
第1回	4	14	ガイダンス
第2回		21	<b>現地調査</b>
第3回		28	地域調査
第4回	5	12	第1回WSの目的、進め方、準備
第5回		19	第1回WSに向けた確認
		22	<b>&lt;第1回WS&gt;</b>
第6回		26	第1回WSの整理、第2回WSの企画検討
第7回	6	2	中間講評（企画内容の発表と意見交換）
第8回		9	第2回WSの企画検討、決定
第9回		16	第2回WS準備
第10回		23	第2回WS準備
第11回		30	第2回WSに向けた確認
	7	3	<b>&lt;第2回WS&gt;</b>
第12回		7	第2回WSの整理、意見交換
第13回		14	提案まとめ
第14回		21	提案まとめ
第15回		28	企画実施の発表と講評

# 3 . 各ステップの報告

## 3-1 現地調査（2022.4.21）

打出地域、打出公園、打出教育文化センターなどを見学し、学生からみた打出地域と打出教育文化センター、打出公園のいいところ、残念なところについてそれぞれ意見を出し合いまとめた。



### 現地調査

#### 打出地域



- 緑豊か(けやき通り)
- おしゃれ
- 坂や階段が多い
- 親子連れ多い
- 建物の統一感
- 雑貨屋、喫茶店多い
- 交通が便利



- 交通量が多い
- 夜が暗い
- スーパーや銀行がない
- 商店街に活気がない
- 階段や坂が多い





## 現地調査

### うちぶん



- 静か
- 趣がある
- 歴史がある
- 図書館がある
- 庭園がある
- 天井が高い



- 利用者が少ない
- 入口が暗くわかりづらい
- 公民館ぽい
- 和式トイレ多い
- 庭園の設備がされていない
- 建物の雰囲気と内装のギャップ



## 現地調査

### 公園



- 整備してくれている人がいた
- ラジオ体操がある
- 幼稚園の子供たちが遊んでいる
- 親子で遊んでいた
- 木々が生き茂っている
- 自然を感じる



- 遊具が古い
- 猿の檻が邪魔
- 夜、街灯が少なくて怖い
- 木々が生き茂りすぎて虫や公園が暗く感じる



## 3-2 第1回WS(2022.5.22)



### 1. 第一回WSの流れ

1. 開催目的の説明
2. 学生からの話題提供～学生からのうちぶんの見え方～
3. グループワーク①～うちぶんの現状～
4. グループワーク②～どんなうちぶんにしたいか～
5. 各グループの意見交換内容を発表

地域のみなさんに親しまれる公共空間を再構築するために、武蔵川女子大学と連携して、打出教育文化センター隣接地の有効活用ワークショップを開催しますので、ぜひご参加ください！

1 打出教育文化センター隣接地の有効活用ワークショップ  
日時: 5/22(日)14時～16時  
場所: 打出教育文化センター 大会議室  
定員: 20名(完全予約制・先着順)

2 打出教育文化センター隣接地の有効活用ワークショップ  
7月15日予定

開催日時: 5月18日(水曜日)まで  
お申し込みのため5/18に申し込み受付を終了しますのでご了承ください。  
5/22(日)は開催日のため、申し込みの受付はございません。

申込方法: 下記のいずれかの方法  
① QRコードによる申込  
② 応募用紙による申込  
【問合せ・申込先】 伊勢市企画部マネジメント推進課  
電話: (0797) 38-2172 / メール: management@city.ashiya.lg.jp

○参加者:

- ・ 一般市民 22名
- ・ 学生 18名



## 2. 学生からの話題提供

学生から見た打出地域・打出教育文化センター

街についての印象街  
とうちぶんの関係

打出公園や  
日本庭園の印象

うちぶんの印象

いいところ

- ・花や緑が多い
- ・オシャレ
- ・落ち着いた雰囲気
- ・打出の小道と  
うちぶんの外観  
があっている。
- ・趣がある。

- ・公園は多くの世代  
の方が利用してい  
て気軽に立ち寄る  
ことができる

- ・うちぶんから見  
る日本庭園が  
きれい。
- ・天井が高い

残念なところ

- ・学生が気軽に集ま  
る場所がなさそう

- ・うちぶんから見る  
日本庭園は綺麗だが、  
公園とうちぶんの  
一体感がない

- ・入り口が奥まっ  
ていて入りづら  
い雰囲気がある。
- ・公民館のような  
印象が強い

学生からの話題提供では、打出地域・打出教育文化センターの印象などを、いいところ、残念なところに分けて地域の方々に発表した。その学生からの話題提供をもとに、打出地域と打出教育文化センターのいいところ、残念なところ、歴史・現状、これからの姿について地域住民と意見交換を行った。



### 3. 第一回WSの結果

各班の発表内容

1班



2班



3班



4班



うちぶん

<p><b>うちぶん</b></p> <p>いいところ 歴史・現状 これから 残念なところ</p>	<p><b>うちぶん</b></p> <p>歴史・現状 いいところ これから 残念なところ</p>	<p><b>うちぶん</b></p> <p>いいところ 歴史・現状 これから 残念なところ</p>	<p><b>うちぶん</b></p> <p>いいところ 歴史・現状 これから 残念なところ</p>
---	---	---	---

打出地域

<p><b>打出地域</b></p> <p>いいところ 歴史・現状 これから 残念なところ</p>	<p><b>打出地域</b></p> <p>いいところ 歴史・現状 これから 残念なところ</p>	<p><b>打出地域</b></p> <p>いいところ 歴史・現状 これから 残念なところ</p>	<p><b>打出地域</b></p> <p>いいところ 歴史・現状 これから 残念なところ</p>
---	---	---	---

うちぶん

- ◎ 趣がある ◎ 日本庭園がきれい。
- × 外と中とでギャップがありすぎる。
- × 利用形態が不明
- × 公民館らしさが強い

打出地域

- ◎ 穏やかで過ごしやすい
- ◎ 防災に力を入れている
- × 夜が暗い × 商店街が静か
- ! 多世代で交流できる場がほしい

4班に分かれて、打出地域と打出教育文化センターのいい所、残念な所、歴史・現状、これからの姿について話し合った結果、打出教育文化センターでは、趣がある、日本庭園がきれい、などがいいところとして挙げられ、外と中とでギャップがあり過ぎる、利用形態が不明、などが残念なところとして挙げられた。

打出地域では、穏やかで過ごしやすい、防災に力を入れている、などがいいところとして挙げられ、夜が暗い、商店街が静か、などが残念なところとして挙げられた。

## ●第Ⅰ回 WS 後のアンケート結果から

### ①今回のワークショップを通して印象に残ったキーワード

- 将来を見据えた街づくり→行ってみたい、訪れたい「うちぶん」
- どの世代も、どの町の方も使えるセンター
- 公民館のイメージ=うちぶん
- けやき並木がきれい。しかし、根を張り道路などがデコボコになっている

など・・・

### ②「うちぶん」や打出地域に対して感じていること等

- 緑豊かで静かな住みやすい街
- 自習室を作ってほしい
- 図書室内に、幼児を横において親が読み聞かせ出来る場所を作ってほしい
- 気軽に利用できる場所になって欲しい

など・・・

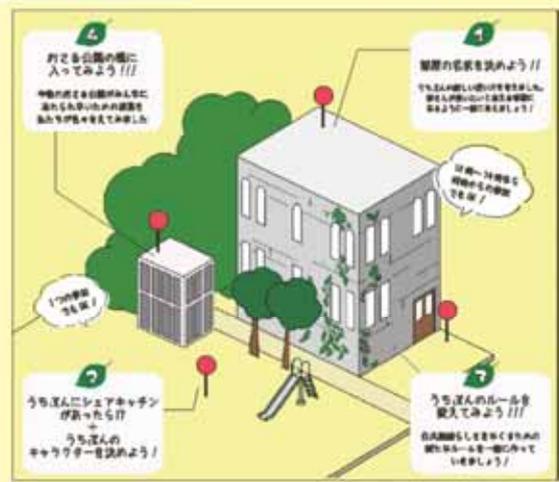
## ●第1回 WS の様子



### 3-3 第2回WS (2022.7.3)



## 第2回WS スケジュール



●第一部(12:00~14:00)

- ・対象:自由参加(市民全員)
- ・4つのグループがそれぞれのテーマに沿ったイベントを開催

テーマ1. 部屋の名前を決めよう!!

テーマ2. うちぶんにシェアキッチンがあったら  
うちぶんのキャラクターを決めよう

テーマ3. うちぶんのルールを変えてみよう!!

テーマ4. おサルさんの檻に入ってみよう!

●第二部(14:30~16:00)

- ・対象:第1回WS参加者
- ・第一部の内容をより深めた意見交換

	一部	二部
一般(全員)	◎	×
前回WSに 来てくれた方	◎	◎

第1回WSでは地域に関心のある方々の意見しか聞けなかったため、第2回WSではよりこの地域に住む多くの人々のリアルな意見を聞きたいと思い、対象の幅を広げるために二部制に分け、第一部では自由参加制にした。

○参加者：	
第1部	44名
第2部	13名

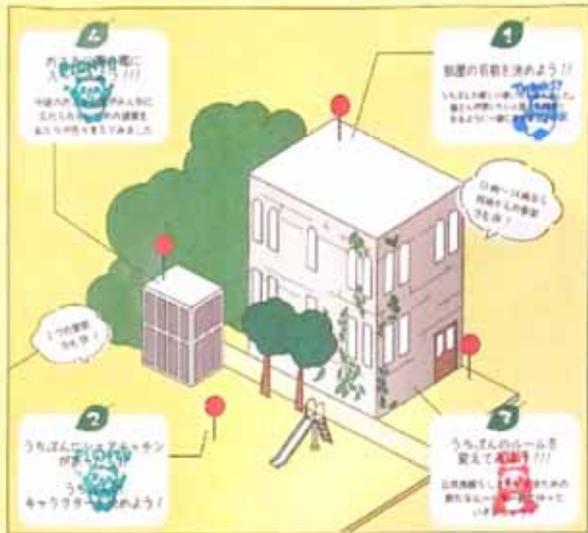


## 第2回WS 全体企画

全テーマのイベントに回ってもらうためにスタンプラリーを実施！



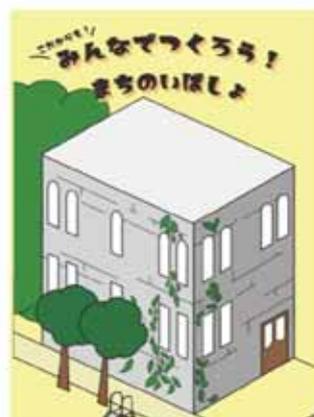
1テーマ参加→武庫女せんべい  
全テーマ参加→缶バッジとせんべい



当日プレゼントした缶バッジ



第2回WSの第一部では、イベントを行っているすべてのテーマを回ってもらうためにスタンプラリーを行い、当日は缶バッジなどをプレゼントした。また、来て下さった方々の人数を可視化するために、ツタを表現したシールを貼ってもらった。



## ●第一部(12:00～14:00)イベントの様子



## ● 第二部(14:30～16:00)の様子

第1回WS参加者を対象として、第一部の内容をより深めた意見交換を行った。





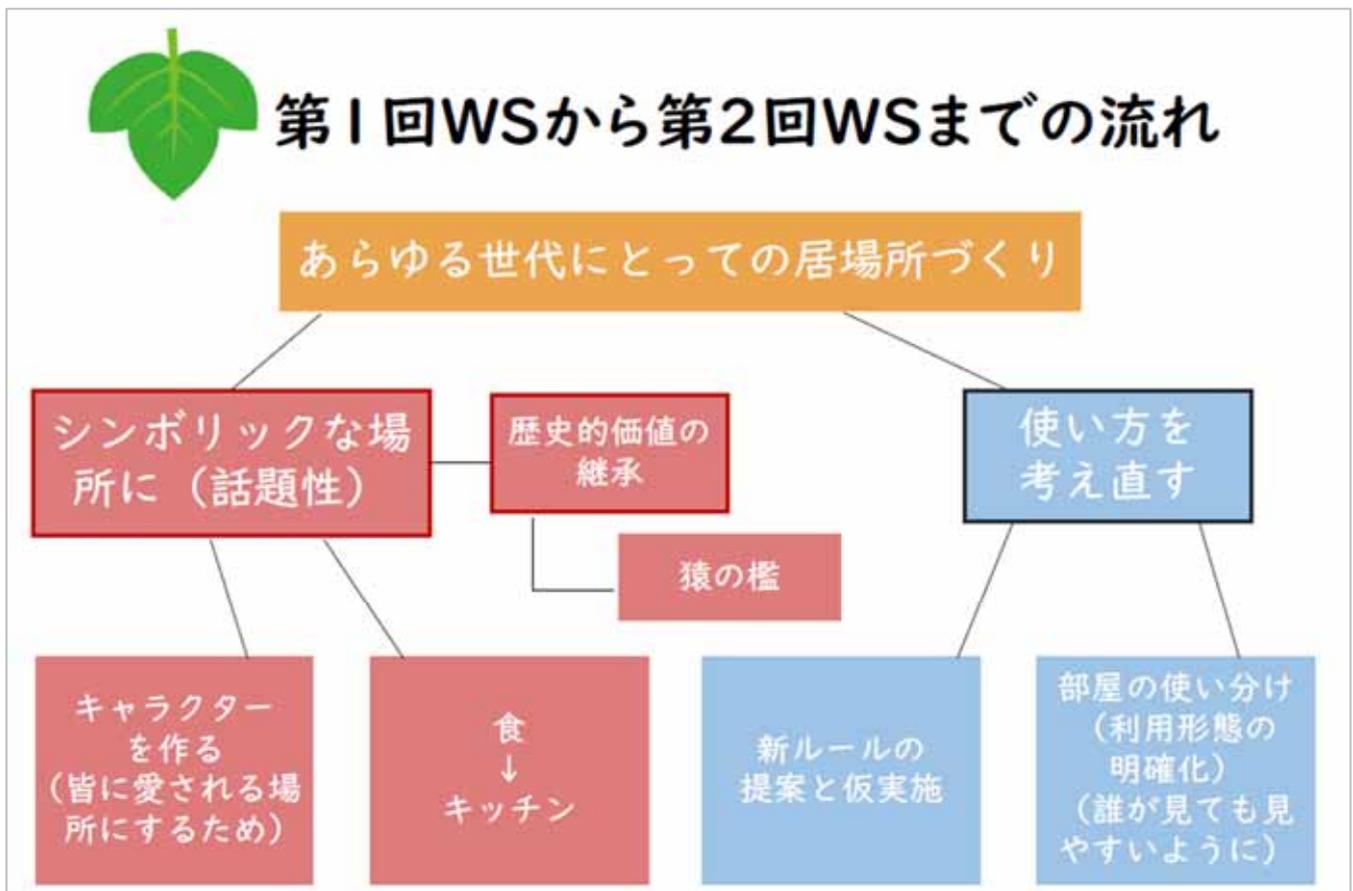
## 4 . 地域住民に親しまれる「うちぶん」に向けた提案

### 4-1 提案の全体像

第1回WSで学生からの提案、地域住民からの提案をまとめた結果、あらゆる世代にとっての居場所作りを目標とし、これからの打出教育文化センターについて考えた。

あらゆる世代にとっての居場所づくりを考えるにあたり、学生と地域住民による様々な意見の中で「話題性」「使い方を考え直す」というこの二つの意見をピックアップし、各テーマごとに分かれ第2回WSを行った。

第2回WSを終えて5つのテーマを提案する。



## 4-2 「行為からみた空間づくり」

第1回WSから貸室の利用形態が不明ということで、部屋の名前を変えて、ルールを明確にするをピックアップして提案していく。

### [提案1]

#### 名前にとらわれない部屋作りをしよう

大会議室という名前がついている以上数名で大会議室を借りるのは少し気が引けてしまうお声を解消するために名前にとらわれない部屋作りをする。

名前投票では・・・

- 1位 こづち
- 2位 おさる
- 3位 つた、けやき
- 4位 こけ



### [提案2]

#### みんなが一目でわかる「マトリクス×マーク」

各スペースで出来ることの有無をマークで表す。また、みんなが一目見てわかる表「マトリクス」を作成することを提案。

	🥤	😞	🚫130
Aのスペース	○	×	×
Bのスペース	○	○	×
Cのスペース	○	○	○

出来ることの少ない、縛られた自習室や図書館などから順に出来ることがだんだん多くなると、出来ることが多くなるグラデーションのルール表が出来上がる。

この様に、あらゆる世代が利用することを前提とし提案。

第2回WSでは、地域に関心のある高齢者の方々は「大会議室という名前を変えてしまったら余計にわかりにくい」などあまり響かなかったが、お子さんを連れてお母さんの方々は「親しみやすくていい」という賛成の意見が多かった。

しかし貸室の利用率は2割程度…

それでは意味がないので、この現状を受け入れて若者も含め、幅広い層の利用者を増やす対策が必要である。そこでこの二つの提案をまとめて、

### [提案1 × 提案2]

馴染みのあるキーワードを使った部屋の名前にすることで、用途にとらわれず多世代の方が自由に利用できるように！

×

各部屋やスペースのルールを明確にして、誰もが一目見てわかるようなグラデーションマトリクスを作成する！

**利用形態を分かりやすく、用途にとらわれないみんなが使いやすい居場所に！！**

## 4-3 「ルール改変による多様な居場所づくり」

第1回ワークショップの際に、飲食可能にして欲しいや貸室を短時間で借りたいなどの意見を頂いた。それを元に話し合った結果、ルールを変更することで住民のやりたい！を叶えることの出来る打出教育文化センターになるのではないかと考えた。そこで私たちは、第2回WSの第1部では、うちぶんの既存のルールを変えたものを体験してもらうことにした。

### 第2回WS第1部 ルール変更内容

- ①図書館の本を持ち出せるようにする
- ②飲食可能（お茶）
- ③和室（貸室）の自由開放
- ④自由に座る場所を決められるように

次に第2部では、第1部の体験会でのアンケート結果や直接頂いた意見などを元に、住民の方と更に話し合いを深めた。話し合っている中で、住民の方から「全面飲食にするのはちょっと……」や「うるさくなってしまうのでは？」「本の状態が悪くなるのでは？」

「部屋の使い方が分かりにくくなる」などの不安の声を頂いた。

その意見を元に、私たちは、ルールを時間帯や場所で分けて変更し、適用させればいいのかと考えた。

そこで、「ルールを改善する」「禁止を緩和する」「不必要なルールを無くす」「新しくルールを作る」の4つを指針として、3つの提案をする。

## [提案1]

### 貸室の自由開放化

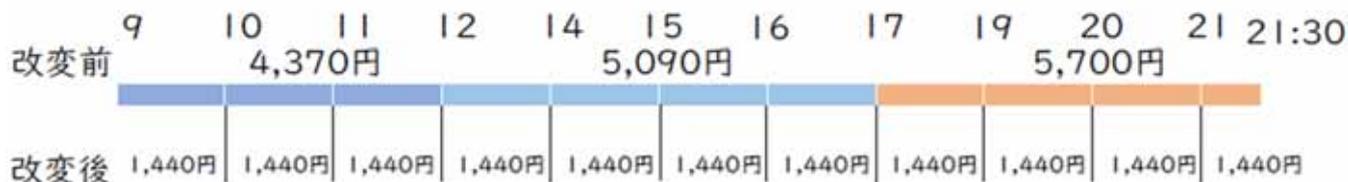
貸室は基本的には常に自由開放として、部屋を貸し切って何かしたい場合のみ事前予約をしてもらい、借りる時間は1時間単位で選んでもらうという提案。

・基本的に、貸室（一階和室、二階大会議室、小会議室）は常に住民の方に向けてフリースペースとして開放する



・住民の方が、何かイベントや用事などで貸切にしたい場合は、事前予約をし、料金を払って貸し切る

・1時間単位で貸室を貸しきれるようにする



## [提案2]

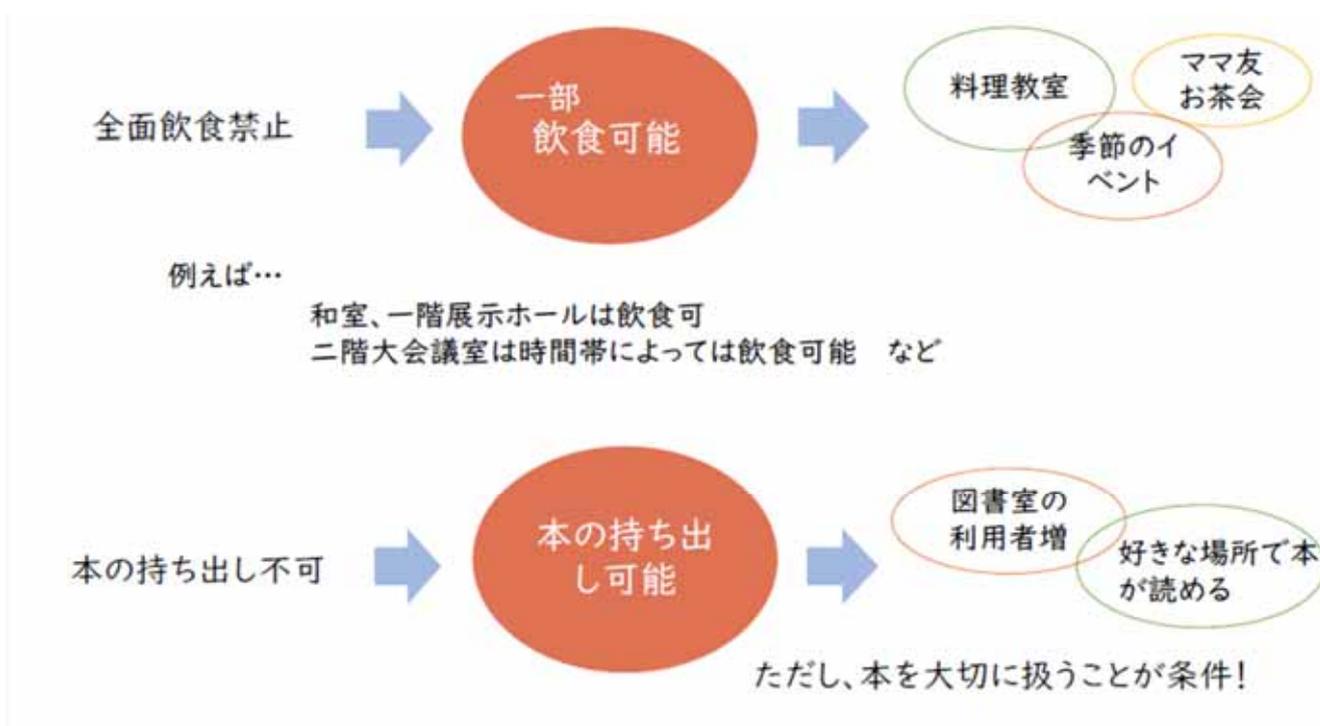
### 一部飲食可能

全面飲食可能にすると、WSで頂いた住民の方からの不安の声を解消できないと考え、和室や展示ホールだけ飲食可能にするなど一部だけ飲食可能に。これにより季節のイベント、料理教室などが可能になる。

### [提案3]

#### 本の貸し出し範囲を決めて持ち出し可能

持ち出す際の約束として、丁寧に扱って貰うということをしっかり守っていただければ、本の損傷が早くなる可能性も低くなると考えている。



この3つの提案によって、

#### ルール改変による多様な居場所づくり

が可能となるだろう。

## 4-4 「シェアキッチンによる多世代交流」

第1回WSで住民の方から、食を通して打出教育文化センターの輪を広げたい。そのためにキッチンがあったらいいのではないかという意見を頂いた。あらゆる人にかかわることが食であり、その食を通じて生まれる交流を作ろうとした結果、全世代が興味のある食で話題性のある空間を作ればより愛される打出教育文化センターになるのではないかと考えた。

### [提案1]

#### 打出教育文化センターにキッチンがあったら

親子連れからは、ピクニックをしたい、季節に関連したものを作りたい、絵本やアニメの再現料理をしたいなどの意見がでた。また、大人の方は、お惣菜を作って販売したい、お弁当を作りたい、子ども食堂をしたいなどが挙げられた。

### [提案2]

#### シェアキッチンがあったら

シェアキッチンを置くことで[提案1]であがったキッチンがあったらしたいことが可能になる。そうすることで様々な可能性が広がる。また、住民の方からも肯定的な意見をたくさんいただいた。

持続性や現実性も考えてよりキッチンを使ってもらえる工夫をする必要がある。

シェアキッチンを持続していくために…

## シェアキッチンを持続していくために

### ・参加費をいただくことで収益化を見込める

→大人が参加するイベントでは参加費を払ってもらい、  
 子供が参加できるイベントの時は子供の参加費を無料にする。  
子ども食堂の材料費をまかなう。

### ・安定した指導者がいることによって持続性が高まる。

→芦屋市は給食に力を入れているので  
栄養士の方や給食センターの方に協力を得る。  
 →一般の方で料理を作ることや教えることが好きな方にもキッチンを使っていたく。

### ・年間を通して様々なクッキングイベントができる。

もしうちぶんにキッチンがあつたら…  
うちぶんで行事食を楽しもう！

季節問わず  
できること

給本の再現料理を作ってみる  
お惣菜を作って販売する  
災害時の非常食を作る  
子ども食堂の実施

04 お弁当を作って 公園でお花見をしよう	05 感謝を込めて お母さんに料理を作ろう	06 お父さんの好きな 料理を作ってみよう	07 蒸しそうめん 七夕祭りしよう	08 暑い時期だからこそ 栄養のある料理を作ろう	09 お団子を作って お月見をしよう
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-------------------------	--------------------------------	--------------------------

主な行事

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
花火	端午の節句 母の日	夏至 父の日	七夕 土用の日の日	お盆 夏休み	十五夜 秋分	十三夜 ハロウィン	七五三	冬至 クリスマス 大晦日	お正月	節分 バレンタインデー	ひな祭り ホワイトデー 春分

10 お菓子を ハロウィンパーティー しよう	11 秋の食材で料理を作り ピクニックをしよう	12 ケーキを作って クリスマスパーティー	01 餅つき大会をして 美味しいお餅を作ろう	02 節分は東方巻き作りと 豆まきをしよう バレンタインチョコを 作ろう	03 ちらし寿司とひなあられて 雛の節句のお祝い ホワイトデーの お返しチョコを作ろう
---------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	------------------------------	--	---

---

このように、

うちぶんにキッチンを置くことで様々な世代の交流が生まれ食を通じたコミュニティが生まれる

また、話題性も生まれる

そうすることによって

より親しみのあるうちぶんに！！

## 4-5 「キャラクターによるイメージ作り」

### [提案]

#### うちぶんのキャラクターと活用方法

目的としては、うちぶんの魅力を発信し、子供にとって親しみのあるうちぶんにする



なまえ

うちもん

チャームポイント

ほんわか笑顔と赤いほっぺ

大きさ・重さ

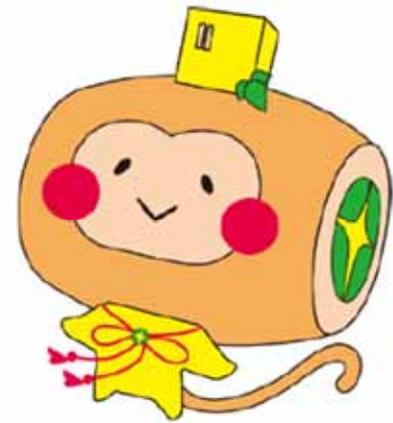
打出の小槌 1個分。1.5頭身。  
頭が重いため、尻尾で体を支える癖がある。

性格

人懐っこい。人の腕にぶら下がるのが好き。

プロフィール

かつてうちぶんにいたお猿に憧れた、打出の小槌の一種の生きもの。  
頭のとっぺんは、ピカピカうちぶん!赤い蝶々結びは、うちぶんに来てくれる人の結び目になれるように、と願ったしるし。  
これからの打出の地域とうちぶんを、楽しく愛で包まれた場所にするために活躍する!



## キャラクターをどう使うか

### 1. スタンプを作る

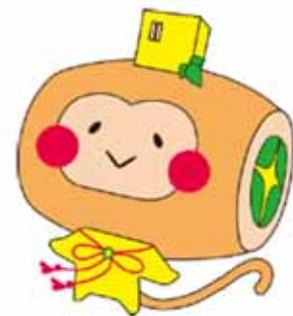
- ・図書館の来館者スタンプ
- ・料理教室などイベント参加でスタンプ集め

### 2. 様々な活動パターンのうちもんを作成

- ・貼って楽しいシールにする  
(・自由に貼るスペースをつくる)
- ・イベントのお知らせに季節のうちもんが登場する

### 3. 缶バッチを作る (WS2で一度配布済み)

スタンプが貯まったら、缶バッチをプレゼント



## 4-6 「猿の檻を活用した歴史継承」

第1回WSで「猿の思い出をどのように残していくかのアイデア」についてアンケートを取ったところモニュメントを残す意見が多かった。アンケートの結果から打出公園に猿がいた事をどう残すのかアイデアを出し合った。



### 第2回WSで得た情報

- ・上品な打出らしい公園にして欲しい
- ⇒猿の要素をさりげなく
- ・猿だけでなく他の動物にも焦点を当てて欲しい
- ・歴史を残して欲しい
- ⇒村上春樹さんの小説の内容を取り入れた何かが欲しい
- ・公園と図書館との繋がりも欲しい

➡ **上品・歴史・他の動物・繋がり**

4つのキーワード

この4つを軸に飛び出し注意の看板とミニ檻のアイデアをブラッシュアップした。



## 飛び出し注意の看板の作成案

うちぶんキャラクターの「うちもん」を使用した  
飛び出し注意の看板



【公園側】



【道路側】

### 【公園側】

おさる公園に来た人たちを見送る  
ようなデザイン

### 【道路側】

村上春樹の「風の歌を聴け」に  
出てくる一節、「僕」と「鼠」が  
打出公園に車を突っ込み、  
檻の中の猿が驚くというシーンを  
模してデザインした。



## 【うちぶん】との関係性について ミニ檻（ギャラリー）を設置

“歴史”でうちぶんとのつながりを持つ

打出公園方針図



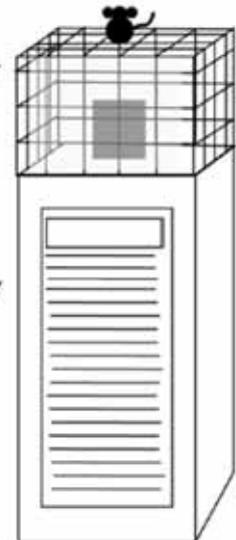
打出公園にいた動物たちをそれぞれの檻の上に設置  
(できれば、木彫りで作りたい)

①リス ②猿(クロー) ③猿(ジロー)

④インコ ⑤クジャク

(打出公園にいた順番で左の図の様に設置)

【ミニ檻のイメージ図】



④ ミニ檻の中に地域の人々が作った作品を展示  
盗難防止・劣化防止の為、檻の中にはアクリル  
ボックスを入れる。また、作品は定期的に入れ  
替えを行う。  
ギャラリーとして公園が新たな居場所になら  
ばいいと思う。  
(檻は撤去する猿の檻を再利用する)

① ミニ檻の土台に公園、うちぶんの歴史を記す  
①～⑤番の順に歴史を辿れるような仕組みにする。  
5つのミニ檻を辿る仕組みによって、うちぶんと  
公園を行き来する人が増えればいいと思う。  
(土台は公園リニューアルに伐採される木を再利用する)

※設置位置はまだしっかり決まっていないが、公園、うちぶんを利用  
する人にとって邪魔にならない場所に設置したい

【イベント】



- ・猿の足跡をスロープにペイントする  
(対象：子供)
- ・猿の檻でDIY  
(つくるもの)  
傘立て、本棚

【フェンス】



- ・フェンス越しに猿のシルエット
- ・設置場所  
⇒スロープ



形に残して歴史を継承



いい《うちぶん》に！

飛び出し注意の看板やミニ檻以外にもイベントやフェンスも提案を行い、このように形に残すことで歴史を継承し、公園をはじめ良いうちぶんになるのではないかと考える。

## 5．まとめ

「打出の小道プロジェクト」の一環として、打出教育文化センター「うちぶん」が、「あらゆる世代にとっての居場所」になるための5つの提案を行った。

### 1．行為から見た空間づくり

行為から見た空間作りを目的として、グラデーションマトリクスの作成を提案

### 2．ルール改変による多様な居場所づくり

「みんながやりたい」をかなえるうちぶんを目的とし、ルール改変による多様な居場所作りを提案

### 3．シェアキッチンによる多世代交流

シェアキッチンによる多世代交流を目的として、シェアキッチンの設置とシェアキッチンを利用したイベントを提案

### 4．キャラクターによるイメージづくり

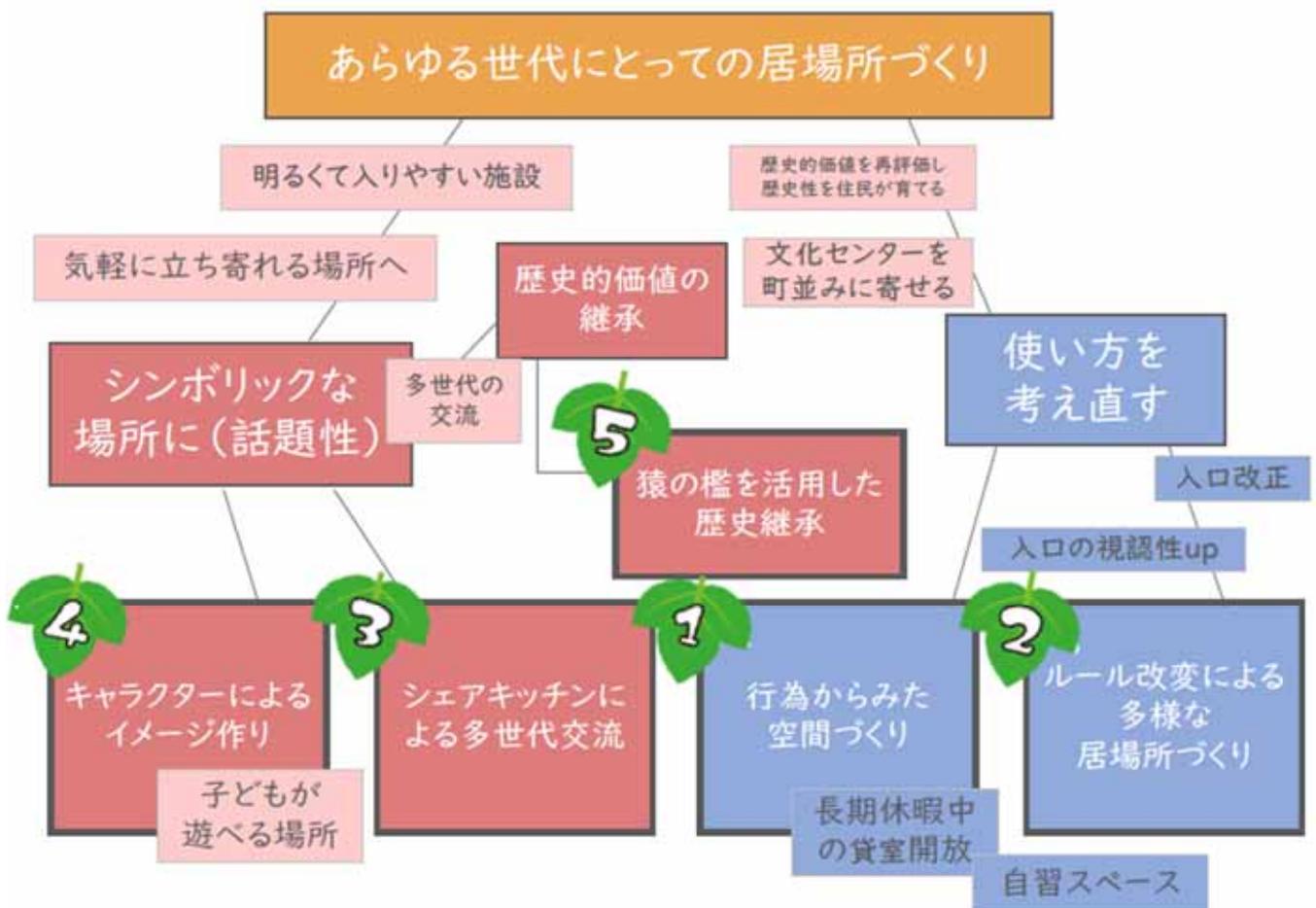
猿の檻を活用した歴史継承を目的として、うちぶんのキャラクターをつくり、様々なイベントに利用することを提案

### 5．猿の檻を活用した歴史継承

おサル看板の看板設置や、イベントを行うことで、サルがいたことを形に残すことでサルがいた歴史継承を提案

これらの提案は、いずれも「うちぶん」が「あらゆる世代にとっての居場所」を目指すための一つの方策である。

学生の現地調査や市民とのWSからも、「文化センターを街並みに寄せる」「歴史的価値を再評価する」「歴史性を住民が育てる」など歴史的価値のある建物をもっと再評価するという意見なども挙げられた。「うちぶん」があらゆる世代にとっての居場所になるためには、これらのテーマについても議論を深める必要がある。



「うちぶん」の目標像とそれに向けた提案

## おわりに

私たちはこの半年の間こんなにも大きなプロジェクトに携わるというとても貴重な体験をさせて頂きました。市民の方々と意見交換を交わし、試行錯誤しながら作っていくことの難しさやその中でのやりがいや楽しさなどの貴重な体験をさせて頂き嬉しく思います。この経験を生かして今後もっとまちづくりに取り組みたいと思います。

またこの授業を通してたくさんの方々に助けて頂きました。特に芦屋市さんにはワークショップの際も芦屋市さんの協力があったからこそ出来たことがたくさんありました。感謝の気持ちいっぱいです。今後、打出教育文化センターがどの様になっていくのか楽しみです。

17名の学生を代表して

中谷実夢、伊藤彩





## みんなでつくろうまちの居場所

### ～打出教育文化センター貸室等の利活用に係る提案書～

令和4年8月5日

編集：中谷実夢、伊藤彩

発行：武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科

#### プロジェクトメンバー

◎生活環境学科 まちづくりコース 3年

生尾彩花	上杉櫻	北野柚葉	中谷実夢	山田胡桃
伊藤彩	大西保乃花	下山田捺美	林田遥	
井上沙緒	鍵原愛可	高見華代	宮尾留奈	
岩木沙織	加藤亜実	辻尾彩花	八束伶奈	

◎「フィールドデザイン演習Ⅲ」担当教員

伊丹康二	鎌田誠史	岡本真由子
------	------	-------

